

大東市内で『避難所運営訓練HUG』を実施しました！

日 時：2014年12月7日 (日) (14:00~16:30)

場 所：大東市立住道中学校

参加者：大野地区の皆様(6班集体) 約50名

ファシリテーター：建築学科学生10名+大学院生2名 (合計12名)

今回の見どころ

今回、日曜日の時間をお借りし、大東市にお住いの地域の方々にHUGを実施して頂きました。参加者の年齢層は比較的幅広く、役員の方々や、消防団の方々、子供会のお母さんやPTAのお母さんの方々等、様々な立場の皆様が、一堂に会し、同じプログラムを実施したことになります。摂南大学の学生がファシリテーターを務めましたが、「振り返り」の段階で、学生からの質問に対しても、優しく・温かく対応して頂きました。会場には、住民さんが持参して下さった「簡易たき火セット」などが展示され、普段見ることのないものを見ることができました。

プログラム実施風景



まずはじめに、学生がHUGの主旨説明とルール説明をしました。



皆さんで図面の確認をしています。ここは体育館が2階なので配置が難しい？！



体育館内の通路の確保を最初に行います。どこにどう配置するのか？



みんなで意見を出し合って、次々来る避難者に対応しています。



情報を整理するためにメモの確認をされています。



班ごとに異なる意見がぶつかることもあります。これは、話し合いで解決していきます。

プログラム実施結果

参加者の皆さんは、最初「どうしよう…」など戸惑っておられたように思います。しかし、どんどんゲームを進めていくにつれて、図面に書く人、メモを書く人など役割分担し、「自分がやるべきこと」を積極的に行っておられるように見えました。最後には、「今回の経験を通して、みんなで協力することの大切さや、自分が今何をすべきかなどの考える力が改めて身についた」と発表されていました。私たちも、これまでにない新しい知見や考え方などを知り、勉強になることが多かったです。

今回のプログラムにご参加頂いた大野地区の皆様、ありがとうございました。また、今回のプログラム実施にあたり、大東市役所の皆様には多大なるご協力を頂きました。心から感謝申し上げます。